令和６年度第２回北海道日高地域公共交通活性化協議会 議事録

日　時　令和６年(2024 年) ５月 29 日（水）　10 時 30 分から 12 時 00 分
場　所　日高合同庁舎　２階 202 会議室
出席者　別紙「出席者名簿」のとおり
議　題　１　令和５年度事業報告について
　　２　令和５年度収支決算及び監査報告について
　　３　令和６年度予算について
　　４　令和７年度地域間幹線系統確保維持地域計画書等の策定について
　　５　日高地域公共交通計画の改正について
　　６　令和６年度振興局及び各団体の取組について
議　事
（１）議題１　令和５年度事業報告について
　　議題２　令和５年度収支決算及び監査報告について

【上田事務局員】
令和５年度の事業報告について、第１回協議会は４月書面により日高地域公共交通計画の原案について協議しました。第２回協議会は対面により日高地域公共交通計画の策定について協議しました。第３回協議会は対面で地域協議会及び法定協議会の運用及び各委員の皆様の取組について協議しました。
続いて昨年度の収支決算を報告します。歳入につきまして、国補助金が 745 万 5,000 円、前年度予算からの繰越金が 1,334 万 8,128 円、諸収入として利息が 20 円、合計 2,080 万 3,148 円となってございます。歳出につきまして、公共交通計画委託事業費が 2,068 万円、事務費として振込手数料が 440 円、合計 2,068 万 440 円となってございます。収入済額と支出済額の差分 12 万 2,708 円が次年度予算への繰り越しとなります。事務局からは以上でございます。

【粟田副会長】
監事を代表して浦河町長崎課長から監査報告をお願いします。

【浦河町　長崎課長】
令和５年度北海道日高地域公共交通活性化協議会の収支決算書につきまして、関係帳簿を照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

【粟田副会長】
議事１、２の説明について、質問等あれば挙手をお願します。意見なしのため、事務局案のまま決定いたします。続いて、議事３について事務局より説明願います。

（２）議題３　令和６年度予算について

【上田事務局員】

令和６年度予算につきまして、まず歳入ですが、令和５年度予算から 12 万 2,708 円を繰り越しています。歳出におきまして、同額を事務費として計上しております。事務局からは以上でございます。

【粟田副会長】

議事３の説明について、質問等あれば挙手願います。

【浦河町　長崎課長】

事業費がないということは、具体の事業実施予定はないということでしょうか。

【井溪事務局次長】

現時点では使い道は決めていませんが、一方で喫緊の課題として運転手が不足していることから、有効に使える手立てがあれば、改めて予算の執行について、協議会で諮りたいと考えています。

【浦河町　長崎課長】

各町とも人手が不足している中、振興局でも上京する事業の予算付けをされていると聞いているので、例えば、雇用の話をするだけではなく、町職員も同伴して各町の移住定住情報や医療機関、教育機関がどこにあるかなど説明するための旅費や事務局が代表して行くでも良いと思っています。ほかには、事業者と消防組合が協定を結んで退職後の消防学校をやっていたりする三重県桑名市などの先進地に視察に行くなど、人材確保は全国どこのバス事業者も苦労していますので、解決のヒントになるような前向きな事業があれば活用して欲しいと思います。

次年度以降でも、管内で人材確保に取り組むということであれば、再度、各町から事業費を集めたり補助金を獲得したりということもあると思いますので、有効に活用してもらいたいと思います。もし皆さんの方からもそのような意見があれば、検討していただければと思います。

【井溪事務局次長】

広域連携の協議会においても人手確保の取組を検討しており、振興局でも独自に取組を実施したいと思っています。意見交換をさせていただきながら、必要に応じて予算の組替などを行って、また別途ご相談をさせていただければと思います。この後お話をしようと思っていましたが、昨日、室蘭運輸支局さんが開催されていた東千歳駐屯地での運転手確保に係る説明会に参加をさせていただきました。静内にも駐屯地がありますので、今秋ぐらいに道南バスさん、JR バスさん、各町の皆様と連携しながら運転手不足に向けた取組を行っていきたいと考えています。また、先週と６月、８月、９月、10 月に首都圏や関西圏で移住イベントの予定がありますので、バス事業者からパンフレットをいただいて PR をしようと思っています。連携できるところはいくつもあると思いますので、この予算についてもそうした活用を含めた検討をしていければと考えています。

【粟田副会長】
その他、ご意見等あれば挙手願います。

【ジェイ・アール北海道バス株式会社　大木専任部長】
転換バスを運行することになってから３年経ちますが、運転手を札幌から送り出した時に３年間の勤務で札幌へ戻すという条件で来てもらっており、今がちょうどその時期になっています。札幌が地元という運転手が多いので、こちらに来る話をすると辞めさせてもらうという話になることがありました。異動は運転手への負担にもなるため、人手が不足している中、地元での採用が一番根強く勤めてもらえるのかなと思っています。そのため、運転手不足に対する事業を強く推進して欲しいと思っています。弊社もホームページで余暇に様似町で釣りをしている動画を作成し、それを見た採用者もおります。こうしたPRで地元採用を増やしていきたいと思っています。

【粟田副会長】
その他、ご意見等あれば挙手願います。

【樋爪課長（新ひだか町）】
予算について、本協議会への負担金は各町からではなく、確保対策協議会の JR 拠出金を使って今後５年の計画を策定するために拠出していますので、当初はそれ以外の使途を想定していません。ですので、確保対策協議会、活性化協議会、また７町広域での連携協議会がある中で、どの協議会で何をするか整理をしながら進めていく必要があると思います。

【井溪事務局次長】
様々な協議会、予算があるので、しっかりと整理をしていかなければならないと思います。地域交通を確保するために運転手が必要という部分を皆さんとお話をしながら、今後の方向性を示していければと思っています。

【粟田副会長】
その他議事３の説明について、質問等あれば挙手願います。意見なしのため、事務局案のまま決定いたします。続いて、議事４についてまず道南バスさんから説明をお願いします。

（３）議事４　令和７年度地域間幹線系統確保維持地域計画書等の策定について

【道南バス株式会社　伊藤営業推進室長】
日頃から、当社の事業運営に関しまして、ご協力ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。それでは弊社の地域間幹線系統の状況につきまして、ご説明させていただきます。地域間幹線系統は昨年まで２路線ありましたが、まず日高沿岸線①につきまして、新ひだか町静内から苫小牧市を結ぶ路線で３系統が集約して地域間幹線系統となっております。こちらにつきましては、本年４月にダイヤ改正を行い、一部新冠町内の節婦地区の経路を変更しました。また、今年の春に JR 北海道が日高線のダイヤ改正を行いましたので、合わせて日高方面の接続などを見直し、４月から運行している状況です。

収支改善計画をご覧ください。令和５年度計画の振り返りにつきましては、令和６年４月１日の経路変更や系統間の運行回数の見直しにより、令和６年度の補助額が計画変更により変わったところです。日高沿岸線①につきましては、来年４月に供用開始が予定されている日高町の富川ターミナルを結節点としたルートの見直しや系統の見直しを日高地域全体で協議しているところでありまして、こちらの路線も幹線に位置付けられることになります。

取組といたしましては、他路線との乗継を考慮した時刻変更を行っていますが、運転手不足もありますので、今後の運行方法等につきましては、関係自治体と協議していきたいと思っています。日高地域公共交通確保対策協議会におきまして、これまでも協議を行ってきましたが、持続可能な交通体系を構築するために、まず最適化についての検討協議を進めていくことで、今年度も同様に取組を行いたいと思っています。

日高沿岸線②につきましては、新ひだか町静内から日高町までの路線を長年弊社で運行しており、昨年まで掲載しておりました。ただ、令和３年度の JR 日高線バス転換の際に運行ルートの変更や便数の見直しを行いまして運行を継続してきましたが、コロナ禍による地域の皆様の外出機会の減少で利用者数に支障が出たと推測しております。実質、地域間幹線としての要件であります輸送量が満たせなくなりました。これまではコロナ禍による特例措置がありましたが、令和７年度計画から受けられないことから、今回一路線を減としてございます。一路線減ということで日高沿岸線②に関係する新ひだか町さん、浦河町さんと今後の方向性を協議していきたいと思っています。

【粟田副会長】

続きまして、ジェイ・アール北海道バスさんより説明願います。

【ジェイ・アール北海道バス株式会社　大木専任部長】

弊社の地域間幹線系統につきまして、様似町から新ひだか町静内、様似営業所から浦河町向別の２路線が地域間幹線系統となっています。様似町から新ひだか町静内につきましては、転換便により運行しており、様似町から浦河町向別につきましては、国鉄時代より運行している路線となってございます。様似町から新ひだか町静内の西側、様似町から広尾町の東側を運行しているところですが、静内方面に比べまして、えりも町から広尾町間の利用が少ないところでございまして、今後利用の少ないところは、運転手不足もあり効率化を図るため、今後、えりも町さん、様似町さんと相談しながら路線の検討をしたいと考えています。

【粟田副会長】

議事４について、ご意見等あれば挙手願います。

【浦河町　長崎課長】

地域住民への影響が大きく、議会への報告や住民への周知もありますので、判明次第、情報提供をいただければと思います。

【粟田副会長】

その他議事４の説明について、質問等あれば挙手願います。意見なしのため、事務局案で決定いたします。続いて、議事５について事務局より説明願います。

（４）議事５　日高地域公共交通計画の改正について

【上田事務局員】

資料５をご覧ください。地域間幹線系統の補助申請にあたり地域計画と日高地域公共交通計画の維持確保方針が示されている項目につきまして、整合が図られている必要がありますことから、地域公共交通計画 90 ページに記載があります維持確保方針の日高沿岸線②につきまして、本年 10 月から地域間幹線系統の対象外となる旨を追記する改定をさせていただきたいと考えてございます。事務局からは以上でございます。

【粟田副会長】

議事５について、ご意見等あれば挙手願います。意見なしのため、事務局案で決定いたします。続いて、議事６について振興局から順に説明願います。

（５）議事６　令和６年度振興局及び各団体の取組について

【上田事務局員】

資料６をご覧ください。基本方針Ａ「広域交通の維持・確保」に関する振興局の取組でございます。バス路線の維持確保に向けた利便性向上を図り利用者の拡大につなげていけるよう、各町や企業の皆様と連携して取組を進めてきたところでございます。具体的には活性化協議会の開催や協議を踏まえたバス事業者との打合せのほか、広域での地域課題解決に向けた勉強会として、AI オンデマンドの事業者や先進的な取組を実施している自治体にお話を伺いながら、国補助金の活用検討を進めてまいりました。令和６年度につきましても、公共交通の最適化に向けた検討を行い、必要があれば各町の皆様との協議や勉強会、現地視察を検討していきたと思っております。

次に資料２枚目、基本方針Ｂ「高齢者を含めた交通弱者対策」に関する振興局の取組でございます。モビリティマネジメント推進といたしまして、昨年度、各町の皆様にご協力をいただき、北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の周知や協賛店の募集を行ってきたところです。本年３月には、新ひだか町さんとバス事業者さんと連携し、高齢者を対象としたバスの乗り方教室を開催したところです。令和６年度につきましても、引き続き、バスの乗り方教室や自主返納サポート制度の周知、ノーカーデーの取組を振興局で実施することを検討しております。

次に、資料３枚目、基本方針Ｃ「人材の育成確保」につきまして、昨年 11 月に高校生を対象にバスの業務説明会を開催したところでございます。令和６年度につきましては、昨日、東千歳駐屯地で退職間近になった自衛官の方を対象とした業務説明会に伺いましたが、同様の取組を振興局でも実施していきたいと考えているところでございます。その他首都圏や関西圏での移住・定住イベントへの参加を予定しており、併せまして、バス運転手の募集に関する案内を進めていきたいと考えております。

最後、資料１枚目に戻っていただきまして、KPI についてでございます。ネットワークの利用者数、収支率、公的資金の投入額と３つございまして、令和３年度の数値を基準値としております。直近の数字でございますが、利用者数は令和５年度で 31 万 5,883 人。収支率は令和４年度で 40.0%、公的資金の投入額は 15 万 3,104 千円となってございます。事務局からは以上でございます。

【井溪事務局次長】

KPI につきまして補足いたします。目標年に対して既に利用者数と収支率が上回っている状況でありますが、もう数年の傾向を見ながら必要に応じて本計画における KPI の再設定を検討したいと思っております。公的資金につきましては、利用者が増加すれば公的資金の投入は減少するものと考えていましたが、現状、利用者と公的資金の投入額の双方が増加しており、昨今の燃料費の高騰や人手確保による人件費が関係していると推測されますので、こうした状況を注視しながら KPI の再設定も含めまして、また皆さんにご相談をさせていただければと思っております。

【粟田副会長】

議事６の振興局説明について、質問等あれば挙手願います。

【北海道開発局室蘭開発建設部　山口課長】

実績値が大きく伸びた要因については把握されていますでしょうか。

【井溪事務局次長】

本計画は令和５年度からスタートしておりまして、計画に基づく取組により大きく変わったということではないと思っております。令和３年度がコロナ禍であったことから、利用者の戻しではないかと推察しているところです。今は人の移動制限がなく、呼び戻しが利用者数の増加につながったと思われます。

【粟田副会長】

議事６の振興局の説明について、質問等あれば挙手願います。

【新ひだか町　樋爪課長】

運転免許の自主返納サポート制度についてですが、振興局から通知文をいただき、町内の事業者さんに案内を依頼されていたが、町で十分な交通体系が整わない中、事業者や町民に対し周知するのは相反することになるため難しい部分があります。今後のやり方について、何か検討されていることはありますでしょうか。

【井溪事務局次長】

おっしゃるとおり、本制度はしっかりとした交通基盤がある中で返納を促す取組と思いますが、まず制度自体が知られてない部分がありますので、周知と返納後のメリット部分の協賛や割引制度の環境を充実させることで、利用者に恩恵が生まれるのではと思っています。取組の優先順位としては、まず喫緊の課題としての運転手確保に注力をしながら、こちらの PR をしていこうと思っています。本計画を策定した時点においては、１つの取組項目として設定しておりますので、全く取り組まないわけではなく、トーンを抑えながらこの先の展開を見つつ進めたいと思っています。

【粟田副会長】

その他、質問等あれば挙手願います。

【浦河町　長崎課長】

振興局の地域おこし協力隊は日高管内で着任する予定ということですが、道内では公共交通対策に協力隊を活用すると聞いていますが、ほかの状況や効果など情報提供をお願いしたい。今後可能であれば道内の先行事例を見ながら協力隊を公共交通の担い手として活用できないか検討しても良いと思います。各町の協力隊では町内のみの活動となってしまいますが、北海道の協力隊であれば、広域にカバーできるのではと思っています。

【井溪事務局次長】

今年度から振興局でも協力隊を雇うこととしています。当初、行政で働きながら半分の時間は企業で働いていただくことを運転手の部分も含めて考えていましたが、結論としましては、運転業務が道の業務とはならないことから、オールひだかの PR に注力いただける協力隊を募集することとしました。市町村では、委託という形態で交通事業者に勤務しているという例もありますので、各地の状況をまとめ次第、皆様に情報提供したいと思います。

退職自衛官や消防の退職者、道庁の退職者でも、１人でも２人でも携わっていただければと思っています。特効薬はありませんが、幅広く総合的に運転手確保に向けて取り組んでいければと考えています。

【北海道運輸局室蘭運輸支局　門間首席運輸企画専門官】

地域おこし協力隊の情報提供といたしまして、安平町で本年６月から地域おこし協力隊制度を地元の追分ハイヤーで活用することになっています。昨年度から募集しており、６月途中から運転業務を開始したと記憶しています。関東地域から２種免許を持っている方が地域おこし協力隊としてきていただけるということで、即戦力としてタクシー会社で勤務するとのことでした。

もう一点、最近ライドシェアが話題となっていますが、札幌、東京、名古屋のように国土交通省が進めている地域のほか胆振管内の伊達市においても地元の事業者主導でライドシェアをやりたいと申請があったところです。運転手の目処はついていませんが、どうしても地域の足をまかなえない時にライドシェアという形で２種免許を持っている方の活用を進めるのもあると思います。

二点目は昨日、自衛隊の東千歳駐屯地でバスの業務説明会を開催しましたので、成果について、今後情報提供させていただきたい。

先ほど長崎課長からお話があったとおり、移住・定住において、北海道に住みたい人は一定数おり、その方は都会よりも自然豊かな地域に住みたいと思っていると感じています。とはいえ JR バスさんも言っていましたが地域、地元の採用が必要ではあると思います。人手確保は深刻で一つの取組ですべてが解決する状況ではありませんので、運輸支局でも検討している事業、実施したい事業がありますので、調整ができましたら皆様にご相談させていただきます。

【粟田副会長】

続いて、平取町さん説明願います。

【平取町　山田課長】

昨年度、地域公共交通計画を策定したところで、新しい取組として、ボランティア有償運送を地域で計画しています。スクールバスや福祉バス、サロンバス、デマンドバスが乱立していますので

整理していきたいと思っています。路線バスにつきましても富川ターミナルができることにより交通結節点ができたというところで、そういったところを活用して、路線の見直しを行っていきたいと考えています。計画を策定した時から運転手不足は顕著で働き方改革も重なり、バス事業者さんの構造的なところがわかりませんので、腹を割って我々も勉強しながらどういったサポートができるのか地域の課題として検討していきたいと考えています。

【粟田副会長】

平取町さんの説明について、質問等あれば挙手願います。続きまして、新冠町さんお願いします。

【新冠町　佐渡課長】

昨年度、地域公共交通計画を更新しました。定時定路線の町内コミュニティバスを２台の自前バスで運行していますがデマンド化したいと考えています。バス１台の年間走行距離が７万キロを超える状況で、１日の距離数を換算すると毎日旭川市と新冠町を往復している状況にあります。乗車人数から考えても非効率で、バスの損耗も激しく、このまま走ると４年で 30 万キロ近くなります。こうした中、更新が繰り返されていることも問題視しております。デマンドバスに関しても高齢者に対応できていない状況もあり、先般、AI デマンド化している先進市町村を視察に行きました。次年度には、町内コミュニティバスのデマンド化したいと考えています。バス運行に関しては、官民問わず同じ問題を抱えていると思いますので、互いに知識を共有しながら前に進めていければと思います。

【粟田副会長】

デマンドに関しては浦河町さんもですよね。

【浦河町　長崎課長】

デマンドは、やっと伸びてきたところで、来年度に本格的な運行を開始します。路線や停車場所を見直しながら固定客はある程度ついてきていますので、インド人の奥様で車がない方などの新しい客層の方が保育所に行くときに乗車されるなど高齢者以外の方も増えてきています。外国人の方が公共交通を使えるよう説明する機会を設けようと地域おこし協力隊とバスツアーを検討しており、バスの乗り方教室などを実施しながら新たな利用者を増やしていかなければならないと考えています。その一方で、運転手確保は苦慮しており、地元の業者さんと相談しながらですが、地元のスクールバス、福祉の送迎バスも厳しい状況で福祉施設、福祉有償の部分も大変な状況です。役所が発注している業務が上手くはまるように効率的に事業者さんが委託を受けやすいような町のやり方ができないかと内部で検討しています。透析患者と通学の時間が一緒であったり、調整が難しい場面もあります。道内の状況を聞くと通学の時間をずらしてもらうことも聞きましたので、それが可能なのか、例えば、小中学校の路線バスに合わせて通学時間を変更できるかなど、まずアイデアを出して事業者さんの負担軽減をして、話し合いながら効率化が図れないか考えています。スマートモビリティや MaaS なども視察して情報収集しながら、技術が向上した時に導入できることもあると思うので、人手確保と仕組みの見直し、最先端の取組を積極的に情報収集していかなければならないと思っています。

【粟田副会長】

新冠町さん、浦河町さんの説明について、質問等あれば挙手願います。続きまして、様似町さんお願いします。

【様似町　野里課長】

当町は５月 20 日からデマンドの試験運行を日交ハイヤーさんにご協力いただきながら手探りで始めています。JR 北海道バスさんが日勝線を走っており、元々鉄道もあり、タクシー事業者も常駐してもらっている環境の中で、他の地域の皆様に比べて恵まれておりましたが、山間部を中心に介護に行きたいという声があり、循環型ではなく乗合のデマンド型として、交通会議で諮り取り組んでいるところです。前日までに予約し利用してもらうので、浸透するまで時間はかかりますが、歯医者でも病院でも事前に予約することが常識になっていますので、ご理解をいただきながら住民の皆様に周知し利用していただくことで、将来的には主流になるものと思っています。いつまでも交通事業者からサービスを提供していただける環境は厳しいと思いますので、その辺も含め、住民の皆様が認識していただけるよう周知していきたいと思っています。

また、運転手不足としまして、JR 北海道バスさんの営業所があり所長さんとよく話をします。YouTube に動画を投稿して PR していますが、来ても泊まるところがないことから、移住体験施設をインターンシップなどで活用していただきたいと考えています。東京でふるさと会や移住フェアも行きますので、営業所と連携しながら呼び込みや運転手の募集を一緒にやっていきたいと考えています。

【粟田副会長】

様似町さんの説明について、質問等あれば挙手願います。続きまして、えりも町さんお願いします。

【えりも町　西野補佐】

人口減少に伴い関係人口を増やすことが必要ですが、国立公園化しても来てもらえる方が少ないと思いますので、公共交通と絡めるのは難しいと考えています。産業構造的にみても一次産業が多くコンパクトシティにしてくのも住民の意識として積極的に取り組めていないところです。

【粟田副会長】

えりも町さんの説明について、質問等あれば挙手願います。続きまして、新ひだか町さんお願いします。

【新ひだか町　樋爪課長】

当町の取組としまして、まずはデマンドの実証実験を本年 10 月から行います。高校生の足の確保と外国人労働者が増えていますので、外国人も使える予約システムを導入したいと考えています。静内駅から静内の山側へ向かう御園線の利用者が少なく、空で走っている状態で、運転手確保の観点からも廃線にしたいと道南バスさんから話を受け、協議の上、本年 10 月に廃線となりました。そこに合わせて地区を限り実証実験をしようと考えています。将来的には新ひだか町内全域でデマンド化をしていきたいという気持ちはありますが、合併町であるが故に広域であるため運行いただ

けるタクシー事業者等が静内地区はまだありますが、三石地区の方が担っていただけるかどうかわからない状況です。今年度の実証試験を見ながら、次の展開を考えていきたいと思います。

当町は交通計画が未策定ですので、実証実験を踏まえながら来年度以降策定をしていくところです。

運転手不足ですが、移住・定住という部分で、道外へ出て運転手確保の案内をさせていただきたいと考えています。当町の取組以外に７町連携の取組についてご紹介させていただきますが、まず日高公共交通確保対策協議会についてですが、JR さんからバス転換した部分の維持確保というところで令和３年度から取組を進めていますが、運転手確保などの様々な問題から路線の最適化、減便、廃線している状況です。各町や交通事業者とも協議し、できるところから最適化を進めていくところです。東部で様似、えりも、広尾間で JR 北海道バスさんが運行されており、利用者が相当少ないという話でかなり早い段階で、関係町で打合せていかなければならないというところです。浦河から静内間、こちらの方については、道南バスさんからもお話がありましたが、地域間幹線系統の対象から外れるということで 10 月から浦河町と新ひだか町の負担がかなり大きくなっていることもありますし、JR 北海道バスさんと道南バスさんが走っているあたりを減便していかなければならないというところで、こちらも早めに打合せをさせていただかなければと思っております。

それから当町から苫小牧まで走る路線につきまして、令和７年度のターミナル供用開始のタイミングで路線の変更をしていくことになります。あと静内から山日高、平取町経由でいく山日高、山日高から苫小牧の路線につきましては、複数の路線が走っているところ、日高町の町営バス、平取町のデマンドバスが走っている路線になっていますので、すでに策定されている計画を見ながら、最適化を進める必要があると感じています。全体的に最適化を進め本年度すぐに協議を始めていきたいと考えています。

７町連携の取組としましては、振興局からの交付金を活用させていただいて、利用促進として、今年度もバス時刻表を作成します。まだ案ですが、バス利用者に配付するノベルティを作成し、バスに乗車するきっかけにしてほしいと考えています。運転手の確保については、委託により大手求人サイトで求人広告をしていく方向で考えています。対面については、転職相談フェアで、振興局が退職の方をターゲットにされているということですので、転職者をターゲットに取組を進めていきたいと考えています。

【粟田副会長】

新ひだか町の説明について、質問等あれば挙手願います。

【井溪事務局次長】

本日、日高町さんが参加できていませんが、新冠町さんと平取町さんと勉強会を進めてきまして、日高町さんで共創・MaaS 実証プロジェクトという国交省の事業に手を挙げて採択をされたと聞いています。江差町で進めている江差 MaaS で活用されている未来シェアのシステム導入を考えているとのことでした。振興局も組織体の中に入って、今後議論をしていきたいと思っています。日高町さんも喫緊の課題としてデマンド化を進めなければならない部分があって、進めたところがありますので、都度、情報提供させていただければと思っています。

【粟田副会長】
その他、質問等あれば挙手願います。

【えりも町　西野補佐】
先ほど、えりもー様似間についてお話がありましたが、当町としては市町村間の運行については、JR 北海道バスさんに運行していただいています。えりも駅に隣接する場所に以前 JR さんからいただいた交付金を活用して、トイレを 7,000 万円で整備しています。駅の周辺整備ということで、これも力を入れているところでございます。

【粟田副会長】
その他、質問等あれば挙手願います。室蘭運輸支局さんお願いします。

【北海道運輸局室蘭運輸支局　門間首席運輸企画専門官】
先ほど話がありました共創・MaaS 実証プロジェクトについて、一昨日から６月 12 日の 16 時まで二次募集を開始しています。一次募集は、日高町さん、平取町さん、新ひだか町さんが採択されています。一次募集で落ちた自治体はないと聞いており、二次募集もまだ予算がありますので、今からでも活用の可能性があると思います。一次募集の時は締切の数日前に相談のあった団体もありましたので、ご関心があれば応募いただければと思います。

【粟田副会長】
その他、質問等あれば挙手願います。続きまして道南バスさんお願いします。

【道南バス株式会社　伊藤営業推進室長】
共創・MaaS 実証プロジェクトに応募されたりデマンド化を進められたり、各団体の取組をお聞きして、路線バスの減便や見直しで様々なお話をさせていただいた中で取り組んでいただいていることにつきまして、事業者として地域交通の維持というところで安心しています。

最初に、運転手確保の問題ということで、これまでも取り組んでいましたが、さらに一歩進めて、道内外に向けた PR 活動や取組の場に参加し、今年度動いていくことを人事担当部署で進めています。各自治体と連携して取り組むものもありますし、自社単独で取り組むことも進めています。先ほど新ひだか町さんもお話しされていた大手就職サイトの求人広告も今年度は自社単独で進めることを人事で調整をしています。平取町さんからも交通計画で動いている中で、運転手不足や働き方改革があり中々進まないというお話もありましたが、事業者も同じ状況でありまして、昨冬、関係町には、本年４月の労働時間改正基準に合わせての見直しを行う旨の話をさせていただき、地域の最適化議論を早く進めていただくことになったところです。これから関係町と協議を行う段階ですが、つい先日、管内営業所の方で急遽ドライバーが２名退職する問題も出てきたところで、本当に営業所で賄いきれないところがあります。関係町の方には一部減便、見直しを早急に取り組まなければというお話をさせていただいたばかりです。当面は、近郊営業所の協力を得ながら最低限のどうやってもやりくりがつかないところでの減便で止めたいと思っていますが、長引くことになりますと、更なる退職希望に繋がってしまうところもありますので、事業者としても人手の確保に取り組んでいるところです。昨日も東千歳駐屯地で説明会があったと聞いていますが、そういう取組

を今年度は各地で進めつつ、労働力の確保に何とか繋げていきたいと思っています。
最適化の関係につきましては、関係町の皆様に地域協議会が終わった段階で、早急な検討を進めたいと思っていますので、改めてご協力をよろしくお願いいたします。

【粟田副会長】
道南バスさんの説明について、質問等あれば挙手願います。続きまして、JR 北海道バスさん説明をお願いします。

【ジェイ・アール北海道バス株式会社　大木専任部長】
道南バスさんからもお話がありましたが、人手不足につきまして、沿線自治体の皆様にも真剣に考えていただき、改めてお礼を申し上げます。弊社の乗務員の現状につきましてお話させていただきますと、昨年度の採用人数はほぼ片手に近い人数です。一方、10 年以上働いている乗務員の方が同じ数だけ辞めている状況があります。JR 日高線も３年が経ち、こちらに異動した段階で退職する乗務員がいるというのが現状です。
経験者優遇制度などの様々な制度を活用して採用しています。待遇の面で賃金が安いのは事実なのですが、どうしてもバス事業は勤務時間が不規則なことから、今の若い方は私たちの世代と違って勤務時間が不規則なところへ慣れがありません。弊社は４週８休が基本ですが、交代前の休日が縛られていること、早番で出勤した方に追加で１往復をお願いするような突発的に対応が必要な状況もかなり増えており、そうした勤務状況が若い方に受け入れられていないところもあります。
弊社としても、どうやって労働環境を整えていくか考えているところであり、私も国鉄時代からずっと勤めていますが、当時はほぼ朝からの予備車、日勤の予備車、遅番の予備車で突発的に休みを取るというような状況ではありませんでした。労働条件をある程度改善していかないと若者が定着していきませんので、どういったことが良いか社内で検討しています。
日高線につきましては、コンサル会社から最適化案が出されているところですが、日高のバス事業について、お客様のニーズに合っているかそうした部分を含めて早めに皆様と議論をして、大きいバスが沿線を走る意義をきちっと考えながら、存続できるような体制を早くつくっていけるようにと思っています。

【粟田副会長】
JR 北海道バスの説明について、質問等あれば挙手願います。
その他全体を通じて、質問等あれば挙手願います。

【北海道開発局室蘭開発建設部　山口課長】
この会議の議論とは違いますが、高規格道路の整備では、災害に強い道路を整備する観点から必要性や整備効果の資料を作成し、随時更新しています。本日の議論においても人を積極的に呼び込む取組が出ていましたので、各種取組と道路整備との紐づけが可能であれば、情報提供やヒアリングをさせていただければと思っておりますので、ご協力いただければと思います。

【井溪事務局次長】

高規格道路に関しましては、オールひだかでプロモーション活動を行っています。来年度に新冠IC開通を控えプロモーション等を強化していきます。また、来月、国立公園に指定され日高地域が注目されるきっかけがありますので、この２年間を集中的にPRしていこうと振興局でも取組の整理を進めているところです。各町や団体の皆様とも年数回、札幌など域外向けにプロモーションをしていますので、お話する場があればご連絡をいただければまとめてご説明をしたいと思います。

【粟田副会長】

その他全体を通じて質問等あれば挙手願います。本日の協議会は人手確保の話が多く、デマンド化にしても再編にしても、運転手が確保できなければ実現が難しいということで、樋爪課長の言葉を借りるようですが、できるところからみんなで連携していかないと乗り越えられないような大きな課題になっていると思いますので、今後とも皆様一丸となって、取組を進めていければと思いますのでよろしくお願いします。